



# ヒゼンマユミ [肥前真弓]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** ニシキギ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

照り葉が美しい常緑性のマユミ。4~5月頃に咲く花は淡緑色で目立たないが、晩秋に成熟する橙色の実、中から赤い種子が現れよく目立つ。長崎県諫早で発見され牧野博士により命名された。九州、沖縄の海岸近くの山地に分布し、自然界では絶滅危惧種に指定されている。



## Memo

絶滅危惧種 I B類 (近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの) に指定されている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期				■								
果	実											■	
紅	葉												
施	肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
剪	定	■					★★						

★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強			○	弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○					○	

## ポイント

紅葉しないが、つやつやとした常緑の葉をつけ、晩秋にオレンジ色の実をつける。これらの特性と、マユミ同様の自然の枝ぶりを活かして配植したい。

## 剪定

マユミ以上に大きく育つので、枝抜きをするか芯を止めると維持しやすい。ある程度放任して、この樹本来の枝ぶりなど魅力を残した剪定がお薦め。

## 病虫害

風通しが悪いとカイガラムシやアブラムシが発生しやすい。